

令和４年１月２１日（金） 場所 委員会室

○出席議員

議長	青木 健	日本共産党	高原 幸雄
副議長	藤田 貴裕	公明党	小口 俊明
自由民主党	遠藤 直弘	新しい議会	藤江 竜三
社民・ネット・緑と風	重松 朋宏		



○議会事務局職員

議会事務局長	内藤 哲也
議会事務局次長	古沢 一憲



○協議事項

◎議長挨拶

- 議題１．令和３年度予算（議会費）の補正について
２．令和４年第１回定例会の議事運営について
３．全員協議会について

- ※ 会派代表質問順について
※ 東京都市議会議員研修会について
※ 政務活動費について

◎議長挨拶

○【青木健議長】 おはようございます。お忙しいところ、本日の会派代表者会議に御出席を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス対応のまん延防止等重点措置が本日から実施される中、皆様方の御協力の下、短時間で進めてまいりたいと思いますので、何とぞよろしくお願いを申し上げます。

それでは、これより会派代表者会議を開きます。

本日は3点について、御協議を賜りたいと思います。



議題 1. 令和3年度予算（議会費）の補正について

○【青木健議長】 まず、議題1でございます。令和3年度予算（議会費）の補正についてを議題とさせていただきます。

それでは、議会事務局次長より御説明を願います。議会事務局次長。

○【古沢議会事務局次長】 それでは、お手元にお配りいたしました会派代表者会議資料No.1、令和3年度議会費3月補正についてを御覧ください。

議会活動経費の中の節13、使用料及び賃借料の自動車借上料でございます。1月21日現在までの支出済額は13万6,660円でございます。今後の支出予定額の25万3,000円を加えまして、決算見込額を38万9,660円と算定いたしまして、当初予算額に対し、残額が60万8,340円となりますことから、このうちの60万8,000円を減額補正するものでございます。

主な減額要因と致しましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議等が中止または書面開催になったことに伴いまして、自動車の借り上げが減少したことによるものでございます。令和3年度議会費3月補正の御説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○【青木健議長】 説明が終わりました。補正予算についていかがでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、会派代表者会議資料No.1のとおり確認をさせていただきます。



議題 2. 令和4年第1回定例会の議事運営について

○【青木健議長】 続きまして、議題2、令和4年第1回定例会の議事運営についてを議題とさせていただきます。

令和4年第1回定例会の議事運営についてですが、ここのところ連日、オミクロン株による感染者数の急増が伝えられております。1日の感染者数も過去最高を、連日のように記録を更新していつているような状況でございまして、前に1定においてはできるだけ正常化というんですか、通常に戻していきたいということを申し上げさせていただきましたが、いまだそれができる状況下にはないというふうに私のほうでは判断せざるを得ない状況であります。

そこで、本日はお持ち帰りを頂き、会派の皆さんと御相談をしていただきたいと思いますと思いますが、基本的に4定と同等の運営にさせていただきたいということでございます。補正予算、予算特別委員会、これについては事前に質疑の通告をしていただきまして、なおかつ、前回もそうだったんですけれども、各会派内において質疑をされる委員の皆さんの順番を事前に申し出いただくという方式を取ることによって、入り口付近での当局の密をできるだけ回避してまいりたいと思っております。それぞ

れお持ち帰りを頂いて御相談をしていただきたいと思います。皆様方のお考えはいかがでしょうか。
遠藤議員。

○【遠藤直弘議員】 議長からの御説明を頂きましたが、オミクロン株がどのような動きになるのか分からない状況の中で、第1回定例会の時期がどのような状況になっているのか分かりづらい部分があります。ですので、4定がかなりスムーズに議事進行されたということも踏まえて、同等でというのは妥当かなと考えておりますので、議長の案に賛成していきたいと思います。

○【小口俊明議員】 今、議長のほうから御提案のあった方式を踏まえて、会派に持ち帰って相談をさせていただきたいと思います。

○【高原幸雄議員】 最近の感染拡大状況というのは倍々で増えているという状況です。今後も見通しが全く立たないという状況の中では、議長が言われた内容というのは念頭に置いて、今、小口議員のほうからも出ましたけれども、うちのほうも会派に持ち帰って説明させてもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。

○【藤江竜三議員】 我々のほうとしても議長のおっしゃるとおりだなと考えておりますけれども、念のため一応会派に持ち帰って相談の上、決定し報告したいと思います。

○【重松朋宏議員】 もちろん会派に持ち帰って検討したいと思いますが、持ち帰るものがあるのかというのを、改めて4定のときと、あと決算特別委員会のときの事前のこういう形でやりますというものを頂きましたが、これをベースに1定もするという事で検討しやすいと思いますので。

○【青木健議長】 ペーパーですね。

○【重松朋宏議員】 はい。それを頂ければ。

○【青木健議長】 局長、いかがですか。

○【内藤議会事務局長】 案として作成をさせていただきたいと思います。ただ、ちょっとお時間頂いて、月曜日にお渡しをするということで御了承いただければと思います。よろしくお願いいたします。本日作成させていただきます。

○【重松朋宏議員】 案という形で改めて作成されなくても、以前頂いたものをもう一度頂いて、これをベースに作られるということで検討すればいいかなと。

○【内藤議会事務局長】 日時の変更だけですので、できれば古いものよりは対応したもののほうがよろしいと思います。近々に作らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○【青木健議長】 では、遅くとも月曜日には皆さんのお手元に配付をさせていただくということで御理解いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

ほかにございますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、お持ち帰りを頂きまして御検討していただきたいと思います。



議題3. 全員協議会について

○【青木健議長】 続きまして、議題3、全員協議会についてでございますが、全協については、基本計画について、これまでの経過を議会事務局より御報告をしていただきたいと思います。議会事務局長。

○【内藤議会事務局長】 第5期基本構想第2次基本計画につきましては、第3回定例会で報告を受

けまして、各会派から意見等を提出して、これを受けまして、当局のほうで第2次基本計画の修正計画を策定して、11月末に市の回答の見解とともに各議員に配付されているという状況でございます。以上でございます。

○【青木健議長】 説明が終わりました。基本計画に対する全員協議会について、蔓延防止等重点措置が実施されている状況下でございますので、皆様方の御意見を頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。重松議員。

○【重松朋宏議員】 通常ですと、1定の中か、1定の前に全員協議会がされていたと思うんですが、とても開催できるような状況ではないかなというふうに思います。また、基本計画自体が施行されて、修正もされて2年たっているんで、どういう形で議会として検証するのかということについても今後協議していただければと思います。

○【小口俊明議員】 今、重松代表がおっしゃった認識、私のほうも共通するものがありまして、昨年の末ぐらいの状況では、今年に入れば、年が明ければ、大分落ち着いてというようなところもあったかと思いますが、今ここに来て、そういう状況ではないと。さらに拡大をしているということからすると、ここで全協というわけにいかないだろう。それ以外の会議と比較いたしましても、全協となると議員も全員であるし、説明員のほうも大勢の方が来てという状況になるのは分かっておりますので、ここで、より密になるような会議は持つことはできないだろう、このようにも思います。

さらになおかつ、今、ここまで2年経過してという御発言もあったわけですが、この間、コロナ禍に対応する中で、我々の知恵を絞りながら、基本計画に対する議会としての責任の果たし方みたいな部分では、様々みんなで知恵を集めて、各会派ごとに意見を出したり、またそれを反映していただいて、よりよいものという取組を最大限やってきたなというふうに思いますので、ここに来てまたさらに全協をとということではないんだろうと思います。以上です。

○【高原幸雄議員】 言われておりますようにコロナの感染拡大が、先が見通せないという状況の下で、全協という形の上でも密な状態で開催されるというようなことは避けられないと思うので、この際、難しいだろうという判断を持っております。ただ、今言われているように、もう一度状況を見ながら、どういう開催ができるのか、できないのか含めて、一度改めて検討して確認をしたほうがいいんじゃないかというふうに思いますので、改めて検討したらどうかと思います。

○【遠藤直弘議員】 各代表の皆様の御意見のとおりだと思います。現状でできるような状況ではないかと認識しておりますので、今回、予定していたものについては、延期もしくは中止という形のほうがよろしいのかと思います。また、次期開催や協議内容、方法についてということでもありますけれども、開催についてはなかなか決めづらいなと思います。非常に波がある今回の新型コロナウイルスですので、どこにその波が来るかというのがなかなか読みづらいところがあります。決めたけれども、また延期というような中では、なかなかしづらいなということがありますので、全員協議会に代わる何かほかのやり方があるのか、そういったことも検討しなければいけない時期に入っているのかなと感じます。以上です。

○【藤江竜三議員】 今回は一旦区切りをつけて中止という形で考えたほうがよいと考えております。全議員がそろって他の会派の意見をしっかり聞くという機会を設けられないということは残念でありますけれども、個々においては意見出しをして、市当局に対してしっかり意見を伝えたものと考えております。そういった中で、既に市のほうとしては計画を進めているわけですから、そして時間もたっているわけですから、一旦区切りとして、今回は全員協議会はしない形で、今後、次回のときはも

う少しやりようをどうするのかということを考えることはよいと思いますけれども、今回の件については見切りをつけるのもありかなと思っております。

○【青木健議長】 ありがとうございます。皆様方の御意見を集約させていただきますと、現状においては、開催はできないだろうということによろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

その後、それではどのような形であれば、このことができるのかということについては、事後の検討ということの課題として受け止めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

では、正副議長で預らせてもらいたいと思いますけど。小口議員、どうぞ。

○【小口俊明議員】 先ほど私のほうの意見を申し上げたんですけども、また、重松代表とも一部共通するかなと思います。この全協を改めての形という検討をする中で、これまで我々が、藤江代表もおっしゃった、それぞれの会派での意見を当局に申し出て、そのことによって進んでいる部分、これも検討の中の1つ、こういうやり方でこれまでやってきた、最大限の中の努力をしてきたということを含めての検討というふうにお願いをしたいと思います。

○【青木健議長】 分かりました。そのように受け止めさせていただきたいと思います。

ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、先ほど申しあげましたように受け止めさせていただきたいと思いますので、ぜひとも御理解のほどお願いを申し上げます。

————— ◇ —————

※ 会派代表質問順について

○【青木健議長】 続きまして、報告事項に入らせてもらいたいと思います。

まず初めに、会派代表質問順について、議会事務局より御説明願います。議会事務局長。

○【内藤議会事務局長】 第1回定例会で行われます市長施政方針表明に対する会派代表質問につきましては、今年は2月28日月曜日に行うことが確認されております。先例に倣いまして、抽せんにより順番を決めております。つきましては、2月18日金曜日の議会運営委員会終了後に抽せんを行いたいと思います。1人会派の皆さんで傍聴されていない場合には、事務局に一任をお願いしたいと存じます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○【青木健議長】 例年どおりのやり方でございますので、この件についてはいかがでしょうか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

————— ◇ —————

※ 東京都市議会議員研修会について

○【青木健議長】 それでは、続きまして、東京都市議会議員研修会についてに入らせてもらいたいと思います。同じく議会事務局長より御説明願います。議会事務局長。

○【内藤議会事務局長】 このコロナ禍の状況によりまして、2月4日開催予定の東京都市議会議員研修会が、昨年と同様にオンラインでの開催という連絡が参りました。オンラインの配信等の詳細につきましては、早々に連絡が入る予定でございますので、詳細が入りましたら、早々に各会派の皆様に御通知を差し上げますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

○【青木健議長】 説明が終わりました。この件についていかがでしょうか。遠藤議員。

○【遠藤直弘議員】 オンラインになった場合の時間というのはいかがでしょう。

○【内藤議会事務局長】 昨年と同様であれば、東京都市議会議員研修会はライブの時間帯だけでなく、2週間程度御覧いただけるという状況だったかと思います。また、少し時間を置かれますと、DVD化されたものも送ってきていただいて、図書室のほうにも置かせていただいておりますので、まだ正式にはお話ができないんですけれども、同様な対応であれば、そのような対応になるかと考えております。以上でございます。

○【青木健議長】 ほかよろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、そのようにさせていただきたいと思います。



※ 政務活動費について

○【青木健議長】 続きまして、3点目、政務活動費についてに入りたいと思います。同じく議会事務局より御説明願います。議会事務局長。

○【内藤議会事務局長】 これも例年お願いをしていることでございます。政務活動費につきまして、今年度、令和3年度の精算は特にございません。令和4年度の政務活動費の交付申請につきまして、来週中に用紙を配付いたしたいと思っております。4月1日金曜日の正午まで、例年どおり申請のほうをお願いしたいと存じます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○【青木健議長】 2か年にわたって政務活動費については、新型コロナウイルス感染症対策基金のほうに皆様方の御協力の下、積み立てさせていただいておりますが、令和4年度につきましては、できたら今度は我々の活動に向けて使用してまいりたいと私のほうでは思っておりますので、ぜひとも申請遅れのないようお願いをしたいと思います。よろしいでしょうか。小口議員。

○【小口俊明議員】 私の認識では、先ほど来の話にもあるように、オミクロン株ということでこのコロナ禍、非常に厳しい状況があるというところで、例えば我々としても政務活動費を活用して視察に出ていくというところがなかなか難しい状況が、好転はしてきていないだろうということと、並びに、具体的に市民の皆様で大変に困っていらっしゃる、このコロナということへの行政の対応の一助としても政務活動費を使っていただく我々の取組ということを、これをなくしてもいい状況にきているのかなということからすると、また引き続き令和4年度も返上する中での我々の対応ということをしては想定しておったわけでありまして。大方の皆さんが令和4年度は使っていこうよということであれば、これは会派に持ち帰って、また相談させていただきたいと思っておりますけれども、その辺の代表者の全体の認識というのはどの辺りのところまで来ているのでしょうかね。

○【青木健議長】 すみません、私のほうで言葉足らずだったかもしれないんですけれども、現段階において、令和4年度全体の判断をすることはまだできないと思っております。ですから、令和4年度については、状況が許すならば使っていくという考え方でありまして、当然、小口議員がおっしゃられたように、状況が好転しないということにおいては、地方に視察に出るということについては無理だと思います。ただし、必要な書籍等々、地方に出る以外の使い道もありますので、それらについて、今の段階で全て制限を設けるという考えではないということでございます。分かりますか。

○【小口俊明議員】 仮にそうだとすると、今回申請をしたと致します。そうすると、各会派掛ける人数の額を申請するわけなんですけれども、その中から使えるというところに今回変わるということですね。

変わるという、これまで過去2年間は、我々書籍すら買わずに来ておりますけれども、それが変わるというところ、なおかつ、今議長がおっしゃったように、外に視察に行けるような状況かどうかを判断するということの中で、もしその判断の中で、出ていくような状況ではないなとなった場合には使わないで不用額というか、使わないでそのまま残るというようなこともあるかと思います。もしそういう状況になれば、これは補正で減額していく、そういう考え方になるわけでしょうか。

○【青木健議長】 それも1つの方法ではあろうと思います。実際、令和2年度につきましては、基金を設立して、そこに積むということを決定した段階で、全額ではないですけど、一部について使用されていた会派もございました。そちらについても全額をお出しいただいたという経過もございますので、そのようなこともあるかと思いますが、現段階において、先ほど申し上げましたように、令和4年度全体を見ての判断はまだできないということでございますので、御理解いただきたいと思います。

なお、補正で減額するかどうかということについては、これはまた先の相談になろうと思いますが、それでしたら基金ということも御相談の中には入ってくるのではないかと考えております。

○【重松朋宏議員】 今年度と前年度、基金に積んだんですけども、手続的には、一旦申請した上で全額返上するというような書類を書いた記憶があるんです。そういう意味では4月1日までに書類を出すということについては、どうするにしてもあるのかなと思うんですけども、その辺りの手続については……。

○【内藤議会事務局長】 事務局としましては、議長おっしゃるように、この状況下では、例年どおりの申請という形でしていただいて、状況に応じて、今年度、昨年度と同様な返上といえますか、そういった書類でのということも想定はしております。ただ、今の段階で確実に基金にどれだけということはないと思いますので、申請は例年どおりしていただきまして、また、会派代表等々でコロナの状況に応じまして、会派代表の皆様で政務活動費の扱い方というのを引き続き御協議いただければと考えております。以上です。

○【青木健議長】 よろしいでしょうか。十分な答えではないかもしれませんが。

○【小口俊明議員】 申請をした上で、今後、協議をするということで理解したいと思います。

○【青木健議長】 よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、4月1日正午までに申請のほうをお願いいたします。



○【青木健議長】 以上で全ての議題が終わりましたので、これをもちまして、会派代表者会議を閉会とさせていただきますと思います。皆様方におかれましては、御協力ありがとうございました。

午前10時26分閉会